

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
旧石器				<p>BC BC3000…メソポタミア文明・エジプト文明</p> <p>1949年に相沢忠洋が発見した岩宿遺跡(群馬県)から、日本にも旧石器時代があり、狩りや漁の洞窟生活をしていたことが分かる。</p> <p>[1 万年前]</p> <p>日本列島が大陸から離れたことはナウマン象の化石(長野県野尻湖)から分かる。</p> <p>縄文の後期に、大陸から稲作や金属器が伝わってきたと考えられている</p> <p>縄文時代最大の三内丸山遺跡(青森県)、大人の平均寿命は30歳位で死者のほうむり方に差がないことから、貧富の差や身分の違いが少ない社会だったと考えられる。</p> <p>縄文土器を使ってマメやクリを栽培する生活。</p> <p>モースが発見した大森貝塚(東京都)・加曽利貝塚(千葉県)・鳥浜貝塚(福井県)</p> <p>磨製石器・骨角器・弓矢・土偶(魔よけ)</p> <p>磨製石器(黒曜石)</p> <p>BC 2500 インダス文明・黄河文明</p> <p>BC 776 ギリシャのアテネで第1回オリンピック開催</p>
縄文	縄文文化	殷周春秋戦国		<p>BC 221 秦の始皇帝が中国を統一</p> <p>[中国への使い]</p> <p>AD 日本(倭)は100余国に分かれていた。…「漢書」地理志</p> <p>最大の環濠集落の吉野ヶ里遺跡(佐賀県)と弥生後期の登呂遺跡(静岡県)。</p> <p>高床倉庫と弥生土器。銅剣・銅鉾・銅鐸・銅鏡の青銅器や鉄器をまつりに使用。</p> <p>日常生活では石包丁などの磨製石器や田げた・くわ・すきなどの木器を使用。</p> <p>BC 563 釈迦が誕生</p> <p>AD 4 キリスト誕生</p>
弥生	弥生文化	新 25 後漢	楽 句 麗 浪	<p>27 ローマ帝国の成立</p> <p>57 倭の奴国が後漢に使いを送り、光武帝から金印を授かる。…「後漢書」東夷伝</p> <p>189 ヒミコさん、189(一躍)日本の女王に</p> <p>卑弥呼が邪馬台国の女王になる。</p> <p>239 魏の23、9しいときには助けてね…by卑弥呼</p> <p>卑弥呼が魏に貢物を送り、金印を授かる…「魏志」倭人伝</p> <p>[大和朝廷の国土統一]</p> <p>大和朝廷が国内を統一。氏とよばれる豪族の集団に臣・連の姓をあたえる氏姓制度。</p> <p>大臣(財政)の蘇我氏と大連(軍事)の物部氏。</p>
古墳	古墳文化	晋 五胡十六国 420 南北朝	さん三 韓	<p>3世紀半ばから7世紀末頃までの約400年間に東北から南九州まで古墳がつくられる。五色塚古墳(兵庫県)・藤の木古墳(奈良県斑鳩)・大山古墳(仁徳陵古墳・大阪府堺市)・稲荷山古墳(埼玉県)などの前方後円墳</p> <p>414 朝鮮半島に勢力をのぼそうとした大和朝廷が、高句麗の好太王(広開土王)に撃退される…「宋書」倭国伝</p> <p>478 478とは、助けてくれない南朝さん</p> <p>倭王の武(ワカタケル大王)が、朝鮮半島の加羅の国の支配を認めてもらうために南朝に使いを送る。</p> <p>大山(大仙)古墳 埴輪</p> <p>高句麗 百濟 新羅</p> <p>加羅</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
古墳	古墳文化	南百北朝	589	<p>5世紀ごろに漢字が伝来する。朝鮮から渡ってきた渡来人たちが、養蚕やはた織り、鉄製の農具・陶器づくりなどを日本に伝える。</p> <p>513 百済から儒教が伝来。</p> <p>538 百済から仏教が伝来する。仏教を取り入れようとする聖徳太子と蘇我氏、それに反対する物部氏が対立し、蘇我氏が勝利。 [聖徳太子の政治]</p> <p>593 聖徳太子が推古天皇(女性で最初の天皇で太子のおば)の摂政になり、蘇我馬子の助けを得て、中央集権国家を目指した政治を行う。</p> <p>603 12階、位はくれても6(禄…給料のこと)03</p> <p>聖徳太子が冠位十二階の制度を定める。</p> <p>604 役人は太子に604と十七条</p> <p>聖徳太子が憲法十七条の制度を定める。</p> <p>607 隋の王607太子と妹に怒る</p> <p>聖徳太子が、第1回遣隋使の小野妹子を隋に送る。</p> <p>…[随書]倭国伝</p> <p>610 絵の具・紙・墨が伝わってくる</p> <p>630 荒海に、こ630かけての遣唐使</p> <p>大上御田歊(第5回遣隋使と第1回遣唐使)</p> <p>を唐に送る 遣唐使は630~894まで派遣</p> <p>[大化の改新]</p> <p>645 大化(大災)で蘇我を、64で5ろした皇子かな</p> <p>天皇中心の中央集権国家をつくらうとする中大兄皇子(天智天皇)と、氏姓制度を守ろうとした蘇我氏が対立し、藤原氏の先祖の中臣鎌足の協力を得た中大兄皇子が蘇我氏を滅ぼした大化の改新がおこる。</p> <p>646 班田は、64がよすぎて6理なのよ</p> <p>6年ごとに戸籍をつくり、それに基づき口分田(6歳以上の男子に2反、女子にその3分の2)を与え、死んだら国家に返させる班田収授の法と、国ごとに国司・郡ごとに郡司・里ごとに里長を置いて租(穀物)・庸(布)・調(特産物)を取り立てる公地公民制からなる改新の詔が出される。</p> <p>663 唐と新羅に勝とうとは、とてもとても6理6理3</p> <p>中大兄皇子が朝鮮に出兵した白村江の戦いに敗れ、中国が攻めてくることを恐れて九州の守りを固める。高松塚古墳(奈良県)の壁画→</p> <p>668 中大兄皇子が天智天皇に即位し、滋賀県大津に都を置く。</p> <p>672 人心(壬申)思う、身内争い6理7の2</p> <p>天智天皇の子の大友皇子と天智天皇の弟の大海人皇子(天武天皇)との身内争いの壬申の乱がおこる。</p> <p>[律令国家の成立] 持統・文武・元明天皇の時代</p> <p>694 藤原で、南を694持統さん</p> <p>持統天皇(天智天皇の娘で天武天皇の妃)が藤原京(奈良県明日香村)をつくる。天武天皇が日本で最初の貨幣の富本銭をつくらせる。</p> <p>701 文武が言った、大宝律令701番</p> <p>文武天皇(持統の孫)の命令で藤原不比等が律(刑法)と令(行政)からなる大宝律令を編集。</p>
飛鳥文化	飛鳥文化	隋	高句麗	<p>610 ムハンマドがイスラム教を開く</p> <p>6世紀の中ごろから7世紀の中ごろ、飛鳥地方を中心に栄えた仏教文化で、古墳に代わり寺院が豪族の勢力を示し、インドやペルシャ・ギリシャの影響を受けた文化</p> <p>法隆寺↓(聖徳太子)の「百済観音像・釈迦三尊像」</p> <p>四天王寺(聖徳太子)、飛鳥寺(蘇我馬子)、広隆寺(京都府)</p> <p>中宮寺の「弥勒菩薩像」(奈良県)など</p> <p>6世紀の中ごろから7世紀の中ごろ、飛鳥地方を中心に栄えた仏教文化で、古墳に代わり寺院が豪族の勢力を示し、インドやペルシャ・ギリシャの影響を受けた文化</p> <p>法隆寺↓(聖徳太子)の「百済観音像・釈迦三尊像」</p> <p>四天王寺(聖徳太子)、飛鳥寺(蘇我馬子)、広隆寺(京都府)</p> <p>中宮寺の「弥勒菩薩像」(奈良県)など</p>
飛鳥文化	飛鳥文化	百濟	新羅	<p>676 新羅が朝鮮半島を統一</p> <p>676 新羅が朝鮮半島を統一</p>
飛鳥文化	飛鳥文化	唐	新羅	<p>676 新羅が朝鮮半島を統一</p> <p>676 新羅が朝鮮半島を統一</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
飛鳥				<p>708(和銅元年) 元明が和同の開闢を元明天皇(文武天皇の母)が和同開闢をつくらせる。しかし、物々交換が中心だった。</p> <p>710 710りっぱな平城京、作った元明あつぱれよ 元明天皇が奈良市の西に、唐の長安を手本にした平城京をつくる。 国府(国司の役所)を結ぶための道路整備。木簡から分かる当時のようす。 くわやすきなどの鉄製農具が広まり、荒地の開墾がすすむ。</p> <p>712 こんな歴史書今まで712 元明天皇の命で稗田阿礼・太安万侶により、最古の歴史書の古事記が作られた。</p> <p>713 元明天皇の命で各地の産物や地名や伝説などを記録した地理書の風土記が作られた。</p> <p>720 7が20の日本書紀 舎人親王らによって、神代から持統天皇までを漢文で記した本格的歴史書の日本書紀が作られた。 [律令政治の乱れ]</p> <p>723 723世までしか認めない…そりゃ、ダメだ 開墾した田を、孫の三世までは個人の土地と認める三世一身の法が出された。</p> <p>730 光明皇后(聖武天皇の皇后で藤原不比等の娘。皇族以外で初めての皇后)が施薬院・悲田院をつくる。</p> <p>741 聖武天皇(文武天皇の子)が国内を仏教の力で治めようと、全国に国分寺・国分尼寺を建て、それらの総国分寺として東大寺をつくる。</p> <p>743 大仏さん、752になって日本の平和…by 行基 聖武天皇が東大寺大仏建立の詔を出す。 行基らの協力による大仏完成は752年。</p> <p>同年 田畑取られる心配743、こんでえいねん私財法 開墾した田畑は永年(永久)に自分のものにしてよいとする墾田永年私財法が出される。 このことで私有地の荘園が増えて、不輸の権・不入の権を使った貴族や豪族たちの権力が大きくなって天皇の力が弱まり、今までの律令政治の公地公民制がくずれるものになった。</p> <p>759 唐から渡ってきた鑑真 鑑真のために聖武天皇が唐招提寺を建立。</p> <p>766 僧侶の道鏡が天皇の位につこうとして失敗。 (仏教権力をあらわすできごと) [律令政治の建て直し]</p> <p>784 長岡京、平安京への784ゴ 桓武天皇が長岡京(京都府長岡)に都を移すが失敗する。</p> <p>794 平安へ引越し禁止で坊さん794桓武さん 桓武天皇が政治と仏教を切り離すため、平安京(京都)に都を移す。</p> <p>797 坂上田村麻呂が初代征夷大將軍に任命され、東北(蝦夷)の蝦夷(アテルイ)を討伐する。 その後、強い力を持っていた蝦夷(安倍氏)が勢力を拡大する。</p> <p>805 唐から帰国した最澄が天台宗を開き、比叡山に延暦寺(滋賀県大津市)を建てる。この時代の寺院は天皇に対抗するほどの権力をもっており、寺や荘園を守る戦いのための僧兵をおいていた。延暦寺(後に信長が焼き払う)の山法師が有名で、義経につかえた弁慶も僧兵である。</p>
奈良	天 平 文 化	唐	新 羅	          
794	平			
あん				

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
平 安 文 化	ふ 風 文 化	こ 国	シ ル 新 羅	<p>806 唐から帰国した^{くわかい しんごんしゅう}空海が^{まこと}真言宗を開き、高野山に^{こんごうぶじ}金剛峰寺(和歌山県)を建てる。 【摂関政治のもと】 ^{ふじわら}藤原氏が自分の^{まご}孫を天皇にし、天皇が幼いときは^{せつしやう}摂政、成人してからは^{かんぱく}関白となる摂関政治を行い、実権をにぎった時代。 平安時代の貴族の邸宅の寝殿造り↓</p> <p>866 ^{ふじわらのよしふさ こうぞく}藤原良房が皇族以外で初めての^{せつしやう}摂政になる。</p> <p>887 ^{ふじわらのもつね}藤原基経が初代の^{かんぱく}関白になる。</p> <p>894 ^{みちざね けんとうしはいし こくふう やくしん}道真の遣唐使廃止で、国風894 ^{すがわらのみちざね}菅原道真の意見で遣唐使が廃止され、^{かな}かな文字が生まれて国風文化ができた。^{すがわらのみちざね}菅原道真は藤原氏との勢力争いに破れて太宰府(福岡県)へ流された。(学問の神様)</p> <p>【地方武士の反乱】</p> <p>936 ^{まさかど}将門で関東地方はきな^{ききき}939、純友で瀬戸内海は^{ききき}939てたまらん 関東地方では、豪族が自分の土地を守るため、武装して国司に対抗した反乱の平将門の乱がおこり、瀬戸内海では^{ふじわらすみとも}藤原純友の乱がおこる。これらは、ほかの武士の力を借りなければ静めることができないほどに朝廷の力が弱っていることを示すできごとである。</p> <p>960 ^{せつかん ぜんせい ふじわら みちなが よりみち}【摂関政治の全盛】 ^{藤原さん、道長}藤原さん、^{よりみち}道長くて^{よりみち}頼通したの？ ^{ふじわらみちなが}藤原道長が^{せつしやう}摂政になる。 ^{たけとり}竹取物語(かぐや姫…作者不詳) ^{ふじわらよりみち}藤原頼通が^{せつしやう}摂政になって多くの^{しやうえん}荘園を ^{こくふう文化}国風文化 ^{きんわかしゅう}古今和歌集(紀貫之ら 905) ^{と き}土佐日記(紀貫之 935) ^{こんじやく}今昔物語(作者不詳 1110 年頃) ^{よりよし}源頼義と源義家が朝廷の命で、 ^あ安部氏(岩手県の豪族)を^{せいばつ}征伐する ^{げんじものがたり}源氏物語絵巻・^う鳥獣戯画(鳥羽僧正) ^{ぜんくねん}前九年の役がおこる。 ^{よしいえ}源義家が清原清衡を助けて、清原氏の ^{うちわ}内輪もめ(秋田県)をしずめた^{ごさんねん}後三年の役 がおこる。その後、清原氏は藤原氏を 名乗り、3代にわたる^{な の きわ}栄華を極めた。 ^{ちゅうそんじこんじきどう}(中尊寺金色堂)</p> <p>【院政】 ^{ふじわら}藤原氏の力をそぐために、院政開始は^{どうやう}1086な、^{しらかわ}白河はん ^{ほうじやうじ}法成寺(京都府・藤原道長) ^{びやうどういんほうおうどう}平等院鳳凰堂(京都府宇治市 ・藤原頼通)の^{あみだにやらいぞう}阿弥陀如来像 は^{じやうちやう}定朝の最高傑作 ^{ちゅうそんじこんじきどう}中尊寺金色堂(岩手県 平泉)に ^{おうしゅう}奥州の藤原清衡らのミイラを安置→</p> <p>1127 ^{なん}南宋</p>
				<p>1016 ^{ふじわらみちなが}藤原道長が^{せつしやう}摂政になる。 ^{こくふう文化}国風文化</p> <p>1017 ^{たけとり}竹取物語(かぐや姫…作者不詳) ^{ふじわらよりみち}藤原頼通が^{せつしやう}摂政になって多くの^{しやうえん}荘園を ^{きんわかしゅう}古今和歌集(紀貫之ら 905) ^{と き}土佐日記(紀貫之 935) ^{こんじやく}今昔物語(作者不詳 1110 年頃) ^{よりよし}源頼義と源義家が朝廷の命で、 ^あ安部氏(岩手県の豪族)を^{せいばつ}征伐する ^{げんじものがたり}源氏物語絵巻・^う鳥獣戯画(鳥羽僧正) ^{ぜんくねん}前九年の役がおこる。 ^{よしいえ}源義家が清原清衡を助けて、清原氏の ^{うちわ}内輪もめ(秋田県)をしずめた^{ごさんねん}後三年の役 がおこる。その後、清原氏は藤原氏を 名乗り、3代にわたる^{な の きわ}栄華を極めた。 ^{ちゅうそんじこんじきどう}(中尊寺金色堂)</p> <p>【院政】 ^{ふじわら}藤原氏の力をそぐために、院政開始は^{どうやう}1086な、^{しらかわ}白河はん ^{ほうじやうじ}法成寺(京都府・藤原道長) ^{びやうどういんほうおうどう}平等院鳳凰堂(京都府宇治市 ・藤原頼通)の^{あみだにやらいぞう}阿弥陀如来像 は^{じやうちやう}定朝の最高傑作 ^{ちゅうそんじこんじきどう}中尊寺金色堂(岩手県 平泉)に ^{おうしゅう}奥州の藤原清衡らのミイラを安置→</p>
				<p>1156 ^{ほうげん}保元は、そろそろ^{い い ころ}1156勝ち戦 ^{すしとく}京都で崇徳上皇と弟の後白河天皇が戦う ^{ほうげん}保元の乱がおこり、^{たいらのきよもり}平清盛と^{みなもと}源義朝を 従えた後白河天皇が勝利する。 ^{い い ころ}1159(よい時刻)に^{しこく}源氏に勝った^{へいじ}平治(平氏)の乱 京都でおきた^{たいらのきよもり}平清盛と^{みなもと}源義朝の戦いの^{へいじ}平治の乱で勝利した平氏が全盛期となる。</p>
				<p>1159 ^{い い ころ}1159(よい時刻)に^{しこく}源氏に勝った^{へいじ}平治(平氏)の乱 京都でおきた^{たいらのきよもり}平清盛と^{みなもと}源義朝の戦いの^{へいじ}平治の乱で勝利した平氏が全盛期となる。</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
<div>平</div> <div>安</div>	<div>国風文化</div>			<p>生活…平安時代から節分・七夕・ひな祭り・祇園祭などの行事が始まっている。</p> <p>[平氏の政権] 1163 宋の朱子が朱子学をおこす</p> <p>1167 平清盛が、今まで貴族が就いていた位の太政大臣になる。</p> <p>[日宋貿易を始める] 平清盛が大輪田泊(現在の神戸港)で日宋貿易を始める。 貿易は鎌倉時代の中頃まで続き、厳島神社(広島県宮島)がこの貿易の守り神である。</p> <p>[源氏の政権] 江戸時代まで約700年間続く武家政権の始まり</p> <p>1180 頼朝はん、そろそろ1180平氏を倒すと…by 京都弁 源頼朝(静岡県伊豆)と源義仲(長野県木曾)が平氏を倒すための兵をあげる。</p> <p>1184 源義経(頼朝の弟で源義朝の九男で幼名を牛若)が一の谷の戦い(神戸市須磨区)で勝利する。</p> <p>1185 1185つくれた鎌倉幕府 平氏が屋島の戦い(香川県高松)で敗れ、続く壇ノ浦の戦い(山口県下関)で滅亡する。源頼朝が鎌倉幕府を開く。 幕府は、御恩(家来に領地を与える)と奉公(主君に仕えて戦に行く)からなる封建制度のしくみ。そして、源頼朝が義経の討伐を理由に、国ごとに守護(軍事と警察の任務にあたる役職)と地頭(守護の下で荘園や公領で租税の取り立てや治安の維持にあたる)をおく。</p> <p>1189 源頼朝が奥州藤原氏(義経を保護した)を平定する。</p> <p>1192 1192たのむよ、大將軍 源頼朝が征夷大將軍になる。</p> <p>[北条氏の政治] 北条氏による執権政治の時代</p> <p>1202 2代將軍になってまもない源頼家が、北条氏と対立して殺される。</p> <p>1203 源実朝が3代將軍になるが、北条氏が実権をにぎっていたため、力をふるえず、最後は北条義時にそそのかされた公暁(源頼家の子)に暗殺された。</p> <p>3代將軍のもとで、初代執権になった人物が北条時政で、その娘が源頼朝の妻の北条政子、政子の弟が2代執権の北条義時である。</p> <p>1221 朝廷の1221六波羅探題 後鳥羽上皇(朝廷)が政権を取り戻そうとし、執権の北条義時を討てと命令した承久の乱がおこる。しかし、義時によって隠岐(島根県)に島流しにされた。このあと、義時が朝廷を監視するための六波羅探題を京都に設置する。</p> <p>1232 御成敗、1232は2になるよ…by ヤストッキー 3代執権北条泰時が、武士がつくった最初の法律の御成敗式目を制定する。</p> <p>[元寇] 1271 モンゴルの5代皇帝のフビライ=ハン 1274 文永で元軍上陸、1274 朝鮮の高麗を従えた元(フビライ=ハン)が博多湾に攻めてくる文永の役がおこる。</p>
1185				<p>鎌倉幕府の政治体制</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉(中央) <ul style="list-style-type: none"> 政所(はじめ公文所)…政治一般 問注所…裁判 侍所…御家人の取りしまり、軍事 将軍一執権 <ul style="list-style-type: none"> 六波羅探題…西国の軍事・裁判、朝廷の監視と京都の警備 守護…国内の御家人の統率、軍事、警察 地頭…土地の管理、年貢の取り立て、警察
	鎌倉文化	宋	麗	<p>鎌倉仏教…宋の影響を受けた仏教</p> <p>浄土宗(法然) 臨済宗(禅宗。栄西) 浄土真宗(親鸞。一向宗) 曹洞宗(道元) 法華宗(日蓮) 時宗(一遍)</p> <p>1206 チングス=ハンがモンゴル帝国を築く</p>
				<p>1279 宋が滅びる</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
鎌倉時代	鎌倉文化	げん元	高麗	<p>1281 時宗がベストの1281を弘安(考案) 元が14万の大軍で再び北九州に攻めてくる弘安の役がおこる。 このとき、8代執権北条時宗が元を退けた。</p> <p>1297 武士と借金1297 恩賞がもらえなかった御家人の不满をそらすため、最初の借金 取消令である永仁の徳政令が出るが、効果はなかった。</p> <p>1318 後醍醐天皇が即位する</p> <p>1332 後醍醐天皇が隠岐(島根県)に島流しになる。</p> <p>1333 鎌倉の幕府にとどめを1333 後醍醐天皇が政権を朝廷に取りもどそうとして 河内(大阪府)の楠木正成や御家人の足利尊氏(六波羅探題 を攻める)・新田義貞(鎌倉を攻める)の協力で鎌倉幕府 を倒した。</p> <p>生活 鎌倉時代から月3回の定期市が開かれるようになり、市では宋銭が使われ、座(同業組合) や問丸(年貢の運送業者)があらわれた。</p> <p>農業 鎌倉時代の中ごろから、牛馬を耕作に利用し、草木の灰や牛馬の糞を 肥料に用いるようになり、西日本では稲の裏作に麦をつくる二毛作が 始まり、やがて関東地方にも広まる。</p>
				<p>1299 マルコ・ポーロが東方見聞録を著す</p> <p>鎌倉文化 円覚寺舍利殿(鎌倉市) 天竺様の東大寺南大門 南大門の金剛力士像↓</p> <p>文学 新古今和歌集(藤原定家) 方丈記(鴨長明)・金堀和歌集(源実朝) 徒然草(吉田兼好)・平家物語(作者不詳、びわ法師)</p> <p>文学 新古今和歌集(藤原定家) 方丈記(鴨長明)・金堀和歌集(源実朝) 徒然草(吉田兼好)・平家物語(作者不詳、びわ法師)</p>
				<p>1334 後醍醐天皇は、天皇復活1334やいと云ったそうじゃ 後醍醐天皇が建武の新政を始めるが、公家や寺社に恩賞が多く、武士には 少なかったため、武士の不满が続出し、新政はわずか2年で終わる。 [南北朝の動乱] 1335 足利尊氏が、後醍醐天皇方についた楠木正成と新田義貞を破る。 1336 足利尊氏が光明天皇をたてて北朝(京都)を、後醍醐天皇が吉野(奈良県)に南朝をつくる。</p>
南北朝	北文化	1368	みん明	<p>室町幕府 1338 尊氏が後醍醐の1338退治した 足利尊氏が征夷大將軍になり、執権に代えて管領を おいた室町幕府を開く。</p> <p>1368 足利義満が第3代將軍になる。</p> <p>1378 足利義満が室町(京都)の花の御所に幕府を移す。</p> <p>1392 南朝は1392で合一へ 足利義満が南北朝を合一する。足利義満が建てた金閣は、義満の死後に 鹿苑寺になっている。1階が阿弥陀堂・2階が観音殿・3階が禅宗様のつくり で、北山文化の代表建築物。</p> <p>北山文化 太平記(小島法師か)・能楽(観阿弥・世阿弥)→ 狂言→</p>
				<p>室町幕府 京都(中央) 管領 侍所……軍事・警察 政所……幕府の財政 問注所……記録の保管 鎌倉府……関東などの支配 守護……地頭</p> <p>室町幕府 足利義満が室町(京都)の花の御所に幕府を移す。</p> <p>室町幕府 足利義満が室町(京都)の花の御所に幕府を移す。</p> <p>室町幕府 足利義満が室町(京都)の花の御所に幕府を移す。</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
むろ 室 まち 町	きた 北 やま 山 文 化			<p>【日明(勘合)貿易】</p> <p>1404 足利義満が明に貢物を持っていく形の朝貢貿易を始める。朝鮮や中国を荒らした日本人の海賊の倭寇と貿易船とを区別する勘合という合い札を使ったために勘合貿易とよばれる。遣明船の帆は藁でできているため、雨にぬれると重くなり転覆しやすかった。銅銭・生糸・薬草を輸入し、金・銅・硫黄・刀・おうぎなどを輸出した。</p>  <p>【室町幕府のおとろえ】</p> <p>1428 正長は徳政勝ち取り 1428 < 近江国(滋賀県)で徳政令を要求した正長の土一揆がおこる。</p>  <p>1429 尚巴志が琉球王国をつくる。</p>  <p>1449 足利義政が第8代将軍になる。足利義政が建てた銀閣は義政の死後は慈照寺になっている。1階が和風建築のもとになった書院造で、2階は禅宗様というつくりである。</p>  <p>1467 義政さん、後継ぎ指名は 1467 足利義政の後継者争いから応仁の乱がおこり、戦の11年間で京都が焼け野原となった。</p> <p>銀閣(書院造) 山水長巻(雪舟)↓ お伽草子(一寸法師など) 浄瑠璃・茶の湯 生け花・連歌(宗祇)</p>  <p>1485 1485 っばい、山城一揆 山城(京都)の国人(地方の小領主)が山城の国一揆をおこし、農民と団結して守護の畠山氏を追い出し8年間の自治を行った。</p> <p>1488 宗教の 1488 強し、一向一揆 加賀国(石川県)で一向宗(浄土真宗・親鸞)の信者が中心になって、加賀の一向一揆をおこし、守護の富樫氏を滅ぼして100年間あまりも加賀の国を支配した。</p> <p>商業・生活 定期市が月6回となり、宋銭のほか明銭(永楽通宝)が大量に使われた。また、問丸が問屋に発展し、馬を使って運送する馬借や土倉・酒屋の高利貸業者も現れた。1日の食事が2食から3食になり、とうふ・まんじゅうもつくられ、祭り・盆踊り・正月・節句などの行事も始まった。小袖とよばれる衣服ができ、江戸時代に袂が長くなって現在の着物の形ができあがった。左は平安時代に始まり、しばらく中断され、この時代に復活した京都の祇園祭。</p>  <p>農業 二毛作が関東にも広まり、稲の品種改良も進み、早稲や晩稲などもつくられ、水車で水を上げ、肥料に灰や人糞を使うことで農業生産力を高めた。農民たちは寄合を開いて村の自治を行う惣村のしくみもできている。日朝貿易も始まり、木綿やにんじんが輸入され、茶やうるし・ごま(油)などの栽培も増え、各地に特産物ができた。宇治(京都)の茶・紀伊(和歌山県)のみかん・甲斐(山梨県)のぶどう 三河(愛知県)の綿花など。</p>  <p>【下剋上の世】 室町幕府の力が弱くなり、各地の守護大名が戦国大名になって城下町をつくり分国法で自国を統治していた時代。 武田信玄(甲斐国、山梨県) 毛利元就(中国地方) 今川義元(駿河国・静岡県) 上杉謙信(越後国、新潟・山形県) 織田信長(尾張、愛知県)など。</p>  <p>1492 コロンブスが西インド諸島を探検 1519 マゼランが世界周航に出発</p>
	ひがし 東 やま 山 文 化	みん 明	り 李 氏 朝 鮮	

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
むろ 室 まち 町	桃 山 文 化	明	李 氏 朝 鮮	<p>1543 鉄砲もって1543さあ、勝ち戦 ポルトガル人が種子島に漂着して鉄砲を伝える。その後、堺(大阪府)や国友(滋賀県)で鉄砲が大量につくられ、戦のやり方が変化した。</p> <p>1549 1549来るキリスト教 スペイン人のフランシスコ・ザビエル(イエズス会)が鹿児島に上陸してキリスト教を伝える。織田信長が仏教勢力を抑える目的で、キリスト教を保護したため、大名の中にもキリスト教信者(キリシタン)がいた。</p> <p>[南蛮貿易] ポルトガルとスペインが南蛮貿易のおもな相手国で、長崎や平戸(長崎県)がおもな港である。</p> <p>このとき、スイカ・カボチャ・とうもろこし・とうがらし・ジャガイモ・タバコが日本に伝わり、各地で栽培が始まった。</p> <p>[織田信長～豊臣秀吉] 1560 桶狭間1560信長くん わずか3千人の信長軍が、3万人の兵の今川義元を破った桶狭間の戦い(愛知県)に全国の武将が衝撃を受ける。</p> <p>1571 織田信長が天下統一の妨げとなる仏教勢力の延暦寺を焼き討ちし、神仏をおそれぬその行動を世の人々が恐れた。</p> <p>1573 義昭は追放されて1573 織田信長が役に立たなくなった15代将軍足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼす。</p> <p>1575 鉄砲に負けてしまって1575た…by武田騎馬隊 織田・徳川の連合軍が、日本最強といわれた武田勝頼(山梨県)の騎馬隊を鉄砲で破った長篠の戦い。</p> <p>1576 信長が琵琶湖の東岸に安土城を築き、楽市・楽座の政策をとって商工業を発展させた。</p> <p>1582 1582に信長沈む本能寺 明智光秀の謀反で信長が自害する本能寺の変(京都府)がおこる。同年、豊臣秀吉が山崎の戦いで光秀を討ち、自分が信長の後継者であることを他の大名たちに示した。</p> <p>同年、秀吉が山城国の検地を行う。検地帳をつくり、石高を調べて、取立てる年貢を安定させること、農民を土地にしばりつけることなどが検地の目的。結果、武士と農民の身分が区別(兵農分離)され、荘園は完全に無くなり、全国の土地と農民が武士の支配化に置かれることになった。</p> <p>1583 豊臣秀吉が、信長が滅ぼした一向宗(浄土真宗)の総本山の石山本願寺の跡地に大阪城を築き、信長と同じく楽市・楽座の政策をとった。以後、大阪は天下の台所とよばれる政治経済の中心地に発展する。</p> <p>1585 もとは農民の出身の豊臣秀吉が関白の位につく。</p> <p>1586 豊臣秀吉が貴族の最高位の太政大臣の位につく。</p> <p>1587 人間の平等を説くキリスト教は全国支配のさまたげになったため、秀吉が宣教師国外追放令を出してキリスト教を禁止した。しかし、スペインやポルトガルとの貿易はそのまま続けたため、その効果はなかった。</p>
				<p>1558 イギリスでエリザベス1世が即位</p> <p>山崎の変 大阪城 安土城 長篠の戦い・小田原 桶狭間の戦い</p> <p>種子島(鹿児島) 国友(滋賀県) 堺(大阪府)</p> <p>種子島(鹿児島) ()は現在の府県名</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
あづ ち土 桃山	桃 山 文 化	中国	朝鮮	<p>1588 秀吉は刀を取り上げ1588 以後バツバ 1588 イギリスがスペインの無敵艦隊を破る</p> <p>秀吉が一揆防止の目的で刀狩令を出す。これで兵農分離と職業と身分の変更の禁止が完成。</p> <p>1590 秀吉が、四国と九州、伊達氏(東北)に続き、小田原の北条氏(神奈川)を平定して全国統一をなしとげる。</p> <p>1591 秀吉が、茶道を大成した千利休に目害を命じる。</p> <p>[秀吉の朝鮮侵略]</p> <p>秀吉が中国の明を征服しようと李氏朝鮮に協力を求めたが、断られたため2度にわたり朝鮮に兵を送ったできごと。この戦いが豊臣氏衰えの原因となった。</p> <p>このときに朝鮮の陶工を連れ帰って得た彼らの技術によって、有田焼・伊万里焼(佐賀県)薩摩焼(鹿児島県)秋焼(山口県)が始まった。</p> <p>1592 1592に攻め入る文禄くん</p> <p>文禄の役</p> <p>1597 豊臣秀吉、1597…by 長さん</p> <p>慶長の役</p> <p>1600 関が原、東軍西軍1600</p> <p>徳川家康が関が原の戦い(岐阜県)で、豊臣方の石田三成を破り天下を取った戦い。</p> <p>リーフデ号で漂着したヤン=ヨーステン(オランダ人)とウィリアム=アダムス(イギリス人)が家康の外交の相談役になっている。</p> <p>[江戸幕府]と[朱印船貿易]</p> <p>家康は、大きな利益を得られる貿易に力をいれた。</p> <p>朱印状をもった朱印船が東南アジアに出かけ、日本町をつくった。生糸・絹織物・鹿の皮・鉛などを輸入して、銀・銅・硫黄・刀などを輸出した。</p> <p>1603 家康は、徳川幕府の1603</p> <p>徳川家康が征夷大将軍になる。</p> <p>江戸幕府の家系図</p> <p>①家康 ②秀忠 ③家光 ④家綱 ⑤綱吉 ⑥家宣 ⑦家継 ⑧吉宗 ⑨家重 ⑩家治 ⑪家定 ⑫家茂 ⑬家康 ⑭家光 ⑮家康 ⑯家光 ⑰家康 ⑱家光 ⑲家康 ⑳家光 ㉑家康 ㉒家光 ㉓家康 ㉔家光 ㉕家康 ㉖家光 ㉗家康 ㉘家光 ㉙家康 ㉚家光 ㉛家康 ㉜家光 ㉝家康 ㉞家光 ㉟家康 ㊱家光 ㊲家康 ㊳家光 ㊴家康 ㊵家光 ㊶家康 ㊷家光 ㊸家康 ㊹家光 ㊺家康 ㊻家光 ㊼家康 ㊽家光 ㊾家康 ㊿家光</p> <p>①～㊿は将軍になった順</p>
1603	江戸文化	中国	朝鮮	<p>1603 家康は、徳川幕府の1603</p> <p>徳川家康が征夷大将軍になる。</p> <p>江戸幕府の家系図</p> <p>①家康 ②秀忠 ③家光 ④家綱 ⑤綱吉 ⑥家宣 ⑦家継 ⑧吉宗 ⑨家重 ⑩家治 ⑪家定 ⑫家茂 ⑬家康 ⑭家光 ⑮家康 ⑯家光 ⑰家康 ⑱家光 ⑲家康 ⑳家光 ㉑家康 ㉒家光 ㉓家康 ㉔家光 ㉕家康 ㉖家光 ㉗家康 ㉘家光 ㉙家康 ㉚家光 ㉛家康 ㉜家光 ㉝家康 ㉞家光 ㉟家康 ㊱家光 ㊲家康 ㊳家光 ㊴家康 ㊵家光 ㊶家康 ㊷家光 ㊸家康 ㊹家光 ㊺家康 ㊻家光 ㊼家康 ㊽家光 ㊾家康 ㊿家光</p> <p>①～㊿は将軍になった順</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
江戸文化	元禄文化	明	李氏朝鮮	<p>1605 徳川秀忠が2代将軍になる。</p> <p>1607 李氏朝鮮と正式な国交を結ぶ。以後、将軍が代わるごとに、400名からなる朝鮮通信使が12回も日本に挨拶に訪れている。 オランダが平戸(長崎県)に商館を開く。</p> <p>1609 薩摩藩(鹿児島県)が琉球王国(沖縄)を征服する。</p> <p>1612 秀忠が、幕府の支配に都合が悪いキリスト教を禁止する。 西国の大名が、貿易で力をつけることをおそれたこともある。(キリスト教の解禁は明治時代になってから)</p> <p>1614 大阪冬の陣がおこる。</p> <p>1615 秀忠の大名統制、いろはごい 大阪夏の陣がおこり、豊臣秀頼と母の淀君が自害して豊臣氏が滅亡した。 秀忠が大名を統制するための武家諸法度や京都所司代で朝廷を監視するための禁中並公家諸法度、一国一城令を制定する。</p> <p>1619 秀忠が農民・町民に対し、年貢の納入や、キリシタンの取りしまりなどに、五戸一組で連帯責任を負わせる五人組の制度を出す。</p> <p>1623 徳川家光が3代将軍になる。 [鎖国ー長崎貿易]</p> <p>1624 家光がキリスト教の布教に熱心なスペイン船の来航を禁止する。</p> <p>1629 踏絵は絵の具のいろが29 長崎で、キリシタンを取り締まるための踏絵(絵踏)が始まる。</p> <p>1634 長崎に出島を築き、以後の貿易はここだけで行われる。</p> <p>1635 家光が、1年は江戸に16よと、3勤5代 家光が、藩主は1年ごとに江戸と領地に住み、妻子は人質として江戸に残すことを命じた参勤交代を武家諸法度の中に制定する。 外国行けぬ、こうなりや16<35(密航)だ さらに、日本人の海外渡航と帰国の禁止も定めた。そのねらいはキリスト教の広まりを防いで、貿易による利益を独占するためと考えられる。</p> <p>1637 四郎16、37と一緒に島原へ キリスト教信者が多い天草(熊本県)で、この地を新しく治めることになった大名が重税をかけ、キリスト教の信者をきびしく取りしまったため、16歳の益田四郎時貞を頭とした島原・天草一揆(長崎・熊本県)がおこる。 4ヶ月もかけて一揆をしずめた幕府は、さらにキリシタンに対する弾圧をきびしくし、同年、すべての者がお寺の檀家になること(一定の寺に属することを強制する寺請制度)をもうけた。</p>
				<p>1612 オランダ人がニューヨークを建設 生活(漁業) 縄から麻糸で網が作られ イワシ漁(千葉県銚子)などの漁業が発達した。 くじら(紀伊・和歌山県) かつお(土佐・高知県) にしん・こんぶ(蝦夷地・北海道) 塩田(瀬戸内海)</p>
				<p>生活(金融) 銀座(金貨を製造・江戸1カ所)や 銀座(銀貨を製造・江戸1カ所)で大判・小判、 銭座(全国)で寛永通宝↓などがつくられる</p>
				<p>佐渡金山(新潟県) 石見銀山(島根県・世界遺産) 1620 イギリスの清教徒が北アメリカに移住</p>